

# 平成30年度予算見積調書

課室名: 自然の博物館

担当名: 企画・広報担当

内線:

(単位: 千円)

番号	事業名		会計	款	項	目	説明事業
	B102	オリパラおもてなしミュージアム 国指定天然記念物の魅力発信とジオパーク秩父の活用事業	一般会計	教育費	社会教育費	博物館費	自然と川の博物館費
事業期間	平成28年度～平成32年度	根拠法令	なし	宣言項目	11	オリンピック・パラリンピックなどを契機とした地域の活性化	
分野施策				061349	文化芸術の振興		

## 1 事業の概要

哺乳類化石として全国初、国天然記念物に指定されたパレオパラドキシアの化石をはじめ、埼玉県の有する重要な財産の魅力を県内外に発信し、後世まで継承していく。

そのため、天然記念物に関する新コーナーの設置等を行い、来館者の増加を図るとともに、秩父・長瀬地域の観光振興、地域振興に資する。

- (1) 常設展図録作成・販売 2,700千円
- (2) 音声ガイド更新・多言語化 1,376千円

## 2 事業主体及び負担区分

(国1/2・県1/2)

## 3 地方財政措置の状況

普通交付税(単位費用) (区分) その他教育費  
 (細目) 社会教育費 (細節) 社会教育施設費  
 (積算内容) 博物館費 地方創生推進交付金  
 地方負担10割に対し、交付税措置あり

## 4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員

9,500千円×1人=9,500千円

## 5 事業説明

### (1) 事業内容

- ア 常設展図録作成・販売 博物館の展示全体を説明する解説書を作成し販売する 2,700千円
- イ 音声ガイド更新・多言語化 音声ガイドの機器を新しくし、多言語化を行う 1,376千円

### (2) 事業計画

- ア 常設展図録を作成・販売することで、平成28, 29年度に当事業で新設した展示コーナーや従来の展示の魅力をより伝え、十分に活用していく。
- イ 機器更新により大変使いやすくなり、幅広い方にお楽しみいただくことができる。また、多言語化を行い、東京オリンピック・パラリンピックを見据え外国人の方にもアピールしていく。

### (3) 事業効果

- ア 秩父地域の観光振興への寄与
- イ 入館者数増

### (4) 県民・民間活力、職員のマンパワー、他団体との連携状況

- ・長瀬町観光協会が行う紅葉ライトアップと連携、サブ会場として当館敷地のカエデをライトアップ
- ・秩父鉄道のSLパレオエクスプレスに当館学芸員が乗車、車窓の地形・自然などを紹介。下車後、長瀬の名所「岩畳」と当館を案内
- ・秩父鉄道と協力し、国天然記念物の露頭と当館を楽しむバスツアーを実施
- ・西武鉄道による主催で、国天然記念物をテーマとした「DIVE CHICHIBU」プロジェクトを実施。また、当館や、秩父地域をめぐるスタンプラリーを実施
- ・小鹿野町等と連携し、露頭に行き化石発掘体験を行うツアーを実施。また、当館まで岩石を運び、来館者の方が化石発掘体験を行うイベントを実施

予算額		財 源 内 訳						一般財源	前年との対比
		国庫支出金	財産収入						
決定額	4,076	2,038	400					1,638	△12,123
前年額	16,199	4,215	400					11,584	